

# Salon

Vol.149 2024年3月 春号



ホール4F壁画 ポール・ゴアマン作「チューリップ」

- CONTENTS
- 01 Prime Interview — 三原久遠
  - 03 Phoenix Presents — ザ・フェニックスホール2024年度年間ラインナップ
  - 05 Pick Up
  - 07 Essay de say — フェニックス・エヴォリューション・シリーズの魅力



# カルテットは4人の“ホーム” ウェールズ弦楽四重奏団 三原久遠さん

「演奏会をさせていただく時には、『自分たちが弾きたい曲を弾く』よりも、たとえ作曲家が違えども、必ず『ひとつの共通テーマ』を持たせるようにしています」。2008年に難関・ARDミュンヘン国際コンクールで3位入賞を果たすなど、国内外の登竜門で実績を残し、惜しくもコロナ禍で延期となったが、ドイツ・ボンのベートーヴェンハウスから主催公演への招請を受けるなど、世界から注目を浴びる精鋭集団「ウェールズ弦楽四重奏団」。ベートーヴェンとハイドン、モーツァルトを取り上げる5月のザ・フェニックスホールでのステージを前に、第2ヴァイオリン奏者で、プログラミングを担当する三原久遠は語る。「変口長調」の作品ばかりを集め、その裏に様々な“糸”を張り巡らせた今回。近現代作品も得意とする彼らだが、久しぶりの大阪公演とあって、あえて古典派の“王道”での「真っ向勝負」に。ラテン語の「Verus」の名の通り、“真なる”響きを目指して「一瞬一瞬、どこを切り取っても隙が無い、丁寧な表現をしてゆきたい」と力を込める。

(寺西肇 音楽ジャーナリスト)



©Satoshi Oono

## Verus String Quartet

ウェールズ弦楽四重奏団  
Verus String Quartet

桐朋学園の学生により2006年に結成。2008年、ARDミュンヘン国際音楽コンクールにて第3位。2009年、王子ホールにて正式なデビュー公演を行う。京都・青山音楽賞を受賞。2011年、バーゼル・オーケストラ協会 (BOG) コンクールにて「エクゼコー」賞を受賞、第7回大阪国際室内楽コンクール弦楽四重奏部門で第3位に入賞。2012年、バーゼル音楽院を修了し、2013年より日本を拠点に活動。2014年からはレジデント・アーティストとしてHakuju Hallで全3回のシリーズを担当。16年には神奈川フィルとの共演でコンチェルト・デビューを果たし、17年は名古屋フィル定期演奏会にソリストとして出演した。これまでにボザール・トリオの創設者メナヘム・プレスラーをはじめ、小林道夫、リチャード・ストルツマン、ポール・メイイ、アレクサンダー・ロマノフスキー等と共演。

東京では1月、2年前から開いている公開レッスン「ウェールズ・アカデミー」を実施。5月には下野竜也指揮の九州交響楽団と没後50年となるシェーンベルクの弦楽四重奏と管弦楽のための協奏曲を「ソリスト」として披露するなど、2024年は彼らにとって「やりたかったことが実現できる年」と位置付ける。

# 作品の隅々まで表現したい

大阪での公演は、12年前のザ・フェニックスホールでのステージ以来。「デビューという訳ではないですが(笑)…本当にお久しぶりなので、カルテットという分野において、非常に重要なウィーン古典派の作品を大阪の皆さんに改めてお聴きいただきたいと考えました」。そのステージの軸に据えたのが、ベートーヴェン後期の第13番。当初は終楽章に《大フーガ》を置いていたが、初演後に出版社の求めに応じて、新たに作曲した別の終楽章へ置き換えた。しかし今回、彼らは《大フーガ》を含めた“原典版”で演奏する。

「差し替えられた最終楽章を弾かずに、第5楽章カヴァティーナの後、すぐに《大フーガ》を演奏します。《大フーガ》は、ストラヴィンスキーが『永遠に現代的な作品』と評した通り、本当にショッキングな音楽です。最後にこの曲が来ることで、『カヴァティーナの美しさ自体も皆さんの中に残り、いっそう鮮烈に伝わる』と僕たちは考えているので、毎回、第13番を演奏する際には、《大フーガ》付きの原典版で演奏しています」

ベートーヴェンの弦楽四重奏曲は、過去に二度、全16曲のツィクルスを完遂。そして、今年6月には東京・サントリーホールの小ホール「ブルーローズ」を舞台に、全6回での三度目の全曲演奏が控えている。さらに、やはり全曲を目指しての録音も進行中。「この数年、集中的に取り組んでいるので、大阪でも『まずはベートーヴェンを』という気持ちがありました。録音も、《大フーガ》付きの第13番は最後と決めているので、その前にぜひ、聴いていただきたいと…」。

この傑作の前に置かれるのが、同じ変口短調を採り、しかも共に《狩》との愛称を冠されたハイドンとモーツァルトの作品。ハイドンの作品I-I《狩》は、角笛を連想させる冒頭主題が有名なモーツァルトの作品を先取りする佳品だが、実演での披露は珍しい。「この作品は、変声期を終えて少年合唱団も離れざるを得なくなり、おそらく『音楽家として、どう生きるか』を自問しつつ、本格的に作曲に取り組み始めた時期の作品。本当にピュアで、不思議な魅力があります」と三原は強調する。

「ハイドンのイメージを形創る作品群は、いわゆる“大先生”になった後がほとんど。でも、この若い時期の作品は、2小節や4小節単位の枠組みにこだわらなかつたり、フレーズが小節の頭だけでなく中途から始まったりと、単に端正な古典音楽ではない。こうした、“プロフェッショナル過ぎない”面は、オーストリアの民族音楽などに由来すると思いますが、後年の彼には見られなくなってゆく。“大先生”になってから(笑)の作品も素晴らしいけど、ピュアなこの曲も魅力的です」

そして、モーツァルトの第17番《狩》。いうまでもなく、巨匠に捧げた『ハイドン・セット』(全6曲)の第4曲でもある。「モーツァルトがこの曲を書いたのは、ハイドンが作品1を作曲したのと同様同じくらいの年齢。この事実は、まさに、モーツァルトの天才性を示しています。2年ほどと、彼にしては異例の長い時間を費やして書かれた曲集は、ハイドンと対照的に、プロフェッショナルを極める一方、誰かから依頼を受けるのではなく、本当に『自分の書きたいもの』を形にしている。そして、ナチュラルさに満ちている反面、“アンナチュラルな瞬間”が、曲集の端々に出てくる。2人の《狩》を並べて聴くことで、何らかの“対話”が生まれて来る気がします」と説明する。

「カルテットは、この3人の作曲家が出发点。でも、『ウィーン古典派』という言葉で一括りにされますね。でも、実はこれだけの多様性を、たった4人の奏者で実現し得る時代だった…今回は、この『最も重要なピリオドの音楽』を、皆さんに提供したいと考えました」と三原。「どんな作品においても、自分たちができる限り、隅々まで表現したい。でも、ただ爆発的に感情をむき出しにするのでなく、魂をグッと掴まれる瞬間も含めて、隅々まで表現したいんです。それを聴き手にも、ぐっと受け止めてほしい」。熱っぽく語る。

東京都交響楽団で第2ヴァイオリンの副首席を務める三原をはじめ、国内の主要オーケストラでも重責を担うメンバーたち。しかし、ウェールズ弦楽四重奏団での活動を「4人だけで責任を持って、作品を取り上げる。本当に大事な“ホーム”です」と表現。かたや、「例えば、マーラーの交響曲を知らずに、ウェーベルンの弦楽四重奏曲を弾くことは考えられない。両方を経験できるのは、僕たちの最大の利点でしょうね」とも。

「音が割と大きなパッセージを練習するような時にも、あえて音量もテンポも下げて、非常に耳を研ぎ澄ませるようなリハーサルを、4人でやっています。作品によっては、本番ステージになって、初めて、(音量やテンポを)マックスの状態でも臨むことも…。なぜかと言えば、僕たちがオーケストラなど

各々の場所から“帰って”きて、こうした方法で作品への対峙することによって、自分たちの響きを再び練り上げ、削り上げてゆきたいから。ゆえに毎回、こんな作業を繰り返しています」

解釈の上で、4人の意見が食い違うことは? 「もちろんあります。そんな時には、まず楽譜へ立ち戻る。結局、食い違いとは、作曲家が“自由”を与えてくれた瞬間の選択の部分なので、実は対立しているようで、よくよく考えたら、同じ方向を目指していた…なんてことも判ります。それに、お互いに“反応”するのが凄く大事。相手の音を聞いていることにすごく重きを置くと、あくまで反応をした上で『自分はこうしたい』との考えを通します。すると、ゴリ押し的に自分を主張するぶつかり方というのは、なくなります」。

カルテットでも、オーケストラでも、“セカンドヴァイオリン一筋”を貫いてきた三原。「性格的なこともあると思いますが…」と苦笑して、「実際に学んだライナー・シュミット先生(ハーゲン弦楽四重奏団)をはじめ、セカンドの名奏者に魅了されてきたことが多いですね。その醍醐味について「例えば、フレーズの受け渡しにしても、それがただ単純に綺麗に横へ流れるのではなく、もしかするとグニャリと曲がる瞬間があるかもしれない…その不自然も含めて、きちんと音楽として自然に流れるようにするという…言葉にすると、なかなか難しいですが…一番見直さなきゃいけない瞬間を与えられているのが、もしかしたらセカンドヴァイオリンかもしれないですね」と微笑む。

パンデミックによる活動の制限を経て、「また『お客様へ音楽を届けられる』ことへの感謝の気持ちは強くて、特に『聴き手と親密な時間をホール内で創る』とのイメージのカルテットでは、なおさらでした」。そして、後進の指導にも力を注ぐ彼ら。カルテットの世界の将来展望について「日本でも、若い世代の団体が今、すごい勢いで育ち、多様な作品にどんどん挑戦して、聴衆に“伝わる速さ”が確実に上がってきています。そういう意味で、室内楽を取り巻く現状が、徐々に変わりつつあると感じています」。希望を込めて、力強く語った。

### ティータムコンサートシリーズ169 ウェールズ弦楽四重奏団

2024年5月24日(金) 14:00開演 指定席 \*お菓子つき  
一般¥4,000 友の会会員¥3,600 学生(25歳以下) ¥1,000

■出演 崎谷直人(第1ヴァイオリン)、三原久遠(第2ヴァイオリン)、横溝耕一(ヴィオラ)、富岡廉太郎(チェロ)

■曲目 ハイドン:弦楽四重奏曲「狩」変口長調 op.1-1  
モーツァルト:弦楽四重奏曲「狩」変口長調 K.458  
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第13番「大フーガ付」変口長調 op.130/133

ティータムコンサート【169】～【174】セット券も絶賛発売中! 6回セットで一般¥24,000 友の会会員¥20,000

■チケットのお求め・お問い合わせ  
ザ・フェニックスホールチケットセンター 06-6363-7999(平日10:00～17:00、土日祝休)



# 2024年度主催・共同主催・共催公演ラインナップ

2024年度、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールの主催・共同主催・共催公演のラインナップです。渡邊規久雄アドヴァイザー監修のもと、近年注目を集めている現代音楽プログラム、若き演奏家たちによるプロジェクト、人気のティータイムコンサート、ギターの祭典Osaka Guitar Summerなど、自信をもってお勧めできる公演を揃えました。2024年度も「室内楽の殿堂」ならではの質の高い演奏を是非ともお楽しみください(公演名などは、今後変更となる場合がございます)。

## アンサンブル・ア・ラ・カルト

2024 10/12 15:00開演 指定席 **ジャパニーズ・ミニマル・ミュージック ～オール・久石譲・プログラム～**

**ミニマル音楽の巨匠の知られざる全貌**

出演 中川賢一(ピアノ/音楽監督)、石上真由子、森岡聡(以上ヴァイオリン)、安達真理(ヴィオラ)、鈴木皓矢(チェロ)、長谷川順子(コントラバス)、大石将紀、井上ハルカ(以上サクソフォン)、畑中明香、宮本妥子(以上打楽器)

曲目 久石譲:「Kids Return」|「DA・MA・SHI・絵」|「揺れ動く不安と夢の球体」 ほか

発売日 2024年5月21日(火) 友の会優先予約 5月17日(金)

2024 12/7 15:00開演 指定席 **Fauré, and more Fauré フォーレ ピアノ五重奏曲 全曲演奏会**

**フォーレ没後100年記念、若手トップクラスが集結、フランス室内楽の至宝**

出演 郷古廉、小川響子(以上ヴァイオリン)、中恵菜(ヴィオラ)、水野優也(チェロ)、水谷友彦(ピアノ)

曲目 フォーレ:ピアノ五重奏曲 第1番、第2番  
レイナルド・アーン:ピアノ五重奏曲

発売日 2024年7月16日(火) 友の会優先予約 7月12日(金)

2025 1/25 15:00開演 指定席 **「月に憑かれたピエロ」(仮称)**

出演 アンサンブル九条山<太田真紀(ソプラノ)、石上真由子(ヴァイオリン)、福富祥子(チェロ)、上田希(クラリネット)、若林かをり(フルート)>、北村朋幹(ピアノ)

美術 山城大督(ビデオ・インスタレーション)

曲目 シェーンベルク:月に憑かれたピエロ ほか

2025 1/13 祝 15:00開演 **「月に憑かれたピエロ」をめぐる冒険 (レクチャー公演) (仮称)**

出演 小味渕彦之(音楽評論家)、三木学(美術評論家)、太田真紀(演奏家)、山城大督(美術家) ほか

発売日 2024年9月中旬

## レクチャーコンサートシリーズ

2024 6/30 15:00開演 指定席 **フェニックス・リベラルアーツ・プロジェクト vol.2 「脳科学×現代音楽」**

**いま、劇場から考える、ニッポンの文化、芸術。**

出演 茂木健一郎(脳科学者)、中川賢一(ピアノ)、浦久俊彦(ナビゲーター)

【第1部】茂木健一郎レクチャー「脳からみた音楽」～脳科学者が語る音楽の神秘(ナビゲート:浦久俊彦)

【第2部】中川賢一 20世紀音楽の展示室

【第3部】茂木健一郎×浦久俊彦×中川賢一 クロストーク 音楽はどこに行くのか?～脳とAIと未来の音楽

チケット発売中

## Osaka Guitar Summer

2024 8/24 自由席 **福田進一&エドゥアルド・フェルナンデスによる 公開マスタークラス<聴講>&修了コンサート**

■公開マスタークラス 13:00開始  
講師 福田進一、エドゥアルド・フェルナンデス

■修了コンサート 16:00開演  
出演 アンサンブルワークショップ受講生、公開マスタークラス受講生  
スペシャルゲスト:徳永真一郎(ギター)

曲目 公開マスタークラス受講曲、ワークショップ課題曲 ほか

2024 8/25 15:00開演 指定席 **<福田進一と仲間たち vol.13> 福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス ジョイントリサイタル**

**盟友と贈る、極上のギターソロ&デュオ**

出演 福田進一、エドゥアルド・フェルナンデス(以上ギター)

曲目 T. アデス(フェルナンデス編):ダークネス・ヴィジブル  
G. サントルソラ:ソナタ・ア・デュオ 第1番  
吉松隆:アトム・ハーツ・クラブ・デュオop.70a ほか(予定)

発売日 2024年5月21日(火) 友の会優先予約 5月17日(金)

## ティータイムコンサートシリーズ

2024 5/24 14:00開演 指定席 **ウェールズ弦楽四重奏団**

**揺るぎない王道、精緻の響き**

出演 崎谷直人、三原久遠(以上ヴァイオリン)、横溝耕一(ヴィオラ)、富岡廉太郎(チェロ)

曲目 モーツァルト:弦楽四重奏曲 変ロ長調「狩」K.458  
ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調「大フーガ付」op. 130/133 ほか

2024 6/14 14:00開演 指定席 **朴葵姫 ギターリサイタル**

**圧倒的な実力と人気を兼ね備え、初めて挑むバッハ**

出演 朴葵姫(ギター)

曲目 J.S. バッハ:無伴奏ヴァイオリンソナタ 第3番  
パリオス:最後のトレモロ ほか

2024 7/19 14:00開演 指定席 **山根一仁&小林海都 デュオリサイタル**

**新世代が奏でる希望の足音を聴く**

出演 山根一仁(ヴァイオリン)、小林海都(ピアノ)

曲目 ショスタコーヴィチ:ヴァイオリンソナタ 長調 op.134  
バルトーク:ラプソディ 第1番 ほか

2024 8/2 14:00開演 指定席 **アンティ・シーララ ピアノリサイタル**

**フィンランドの名匠が弾く、ベートーヴェン最後の3つのソナタ**

出演 アンティ・シーララ(ピアノ)

曲目 ベートーヴェン:ピアノソナタ 第30番、第31番、第32番

2024 10/25 14:00開演 指定席 **堤剛 チェロリサイタル**

**深化する巨匠**

出演 堤剛(チェロ)、田中英明(ピアノ)

曲目 ベートーヴェン:「魔笛」の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO.46  
シューベルト:アルペジオネソナタ イ短調 D821 ほか

2024 11/15 14:00開演 指定席 **ミハル・カニユカ ピアノトリオ・プロジェクト**

**チェコ×日本、名手によるピアノ三重奏の名曲**

出演 ミハル・カニユカ(チェロ)、漆原朝子(ヴァイオリン)、伊藤恵(ピアノ)

曲目 ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲 第7番 変ホ長調 op.97「大公」  
チャイコフスキー:ピアノ三重奏曲 イ短調 op. 50「偉大な芸術家の思い出」

## 共同主催公演

ザ・フェニックスホールに集う トップアンサンブルシリーズ2024-2025 チケット発売中

室内楽の至高のレガシー ベートーヴェン「ラズモフスキーセット」 共同主催:日本室内楽振興財団

2024 4/29 祝 15:00開演 指定席 **レオンコロ弦楽四重奏団**

**時代を越えたウィーンの風**

出演 ヨナタン・昌貴・シュヴァルツ、アメリー・コジマ・ヴァルナー(以上ヴァイオリン)、近衛麻由(ヴィオラ)、ルカス・美・シュヴァルツ(チェロ)

曲目 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第7番 へ長調 op. 59-1「ラズモフスキー第1番」 ほか

2024 9/27 19:00開演 指定席 **ヘンシェル・カルテット**

**受け継がれる正統派ドイツサウンド**

出演 クリストフ・ヘンシェル、ダニエル・ベル(以上ヴァイオリン)、モニカ・ヘンシェル(ヴィオラ)、マティアス・バイヤー=カルツホイ(チェロ)

曲目 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第9番 二長調 op. 59-3「ラズモフスキー第3番」 ほか

2025 3/1 15:00開演 自由席 **ヴェローナ・カルテット**

**弦楽四重奏大国 アメリカで頭角を現す俊英**

出演 ジョナサン・オン、ドロシー・ロー(以上ヴァイオリン)、アビゲイル・ロジャンスキー(ヴィオラ)、ジョナサン・ドーマンド(チェロ)

曲目 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲 第8番 小短調 op. 59-2「ラズモフスキー第2番」 ほか

2024 12/21 15:00開演 指定席 **B-C(ピートゥーシー) バッハからコンテンポラリーへ 葵トリオ リサイタル**

共同主催 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団

**注目の若手ピアノ三重奏団、レアな作品で切り拓く新たな世界**

出演 小川響子(ヴァイオリン)、伊東裕(チェロ)、秋元孝介(ピアノ)

発売日 2024年7月16日(火) 友の会優先予約 7月12日(金)

▲本公演は「読売テレビ10ha」で開催いたします。

## フェニックス・エヴォリューション・シリーズ

2024 5/14 19:00開演 自由席 **井上玲リコーダーリサイタル**

**テレマン国際古楽コンクール第2位・聴衆賞の俊英! 伊・独6曲ものリコーダー協奏曲を集める稀有な一夜。**

出演 井上玲(リコーダー)、大内山薫、高橋亜季(以上ヴァイオリン)、門倉佑希子(ヴィオラ)、永瀬拓輝(チェロ)、曾根田駿(チェンバロ)

曲目 ヴィヴァルディ:リコーダー協奏曲 小短調 RV 441  
J.F. ファッシュ:リコーダー協奏曲 へ長調 FaWV L:F6 ほか

2024 11/13 19:00開演 自由席 **小塩真愛×三原未紗子 ピアノデュオリサイタル**

**響き渡る2台ピアノの世界**

出演 小塩真愛、三原未紗子(以上ピアノ)

曲目 W. A. モーツァルト:2台のためのピアノソナタ 二長調 K.448  
ラフマニノフ:組曲 第2番 op.17 ほか

2025 2/4 18:30開演 自由席 **Duo März | Duoの試み 2025 mit フロインデ**


**気鋭の現代音楽ユニットDuo Märzが厳選プログラムでお届けする一夜。黄道十二宮を軸に作品を巡る。**

出演 井上ハルカ(サクソフォン)、西岡まり子(打楽器)、深見まどか(ピアノ&キーボード)、黒川冬貴(コントラバス)、土橋庸人(エレキギター)

曲目 カールハインツ・シュトックハウゼン:黄道十二宮  
ヴァンソン・ダヴィッド:In Pulse ほか

チケット発売中 発売日 2024年7月16日(火) 友の会優先予約 7月12日(金) 発売日 2024年9月中旬





## Osaka Guitar Summer 2024 関連事業

### ギターアンサンブル ワークショップ 受講生募集


今年度はピアニスト・作曲家の加羽沢美濃さんの新曲に取り組んでいただきます。ギター愛好家の皆様のご応募をお待ちしております。


**開催日程** 5月26日(日)、6月6日(木)、6月23日(日)、7月4日(木)、7月28日(日)、8月12日(月・祝)、8月19日(月)、8月23日(金)、8月24日(土) 全9回  
\*時間は、募集要項でご確認ください。

**講師** 岩崎慎一、益田展行 **募集人数** 20名程度

**課題曲** 加羽沢美濃・新曲・初演(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール2024年委嘱作品)

2021年のアンサンブルワークショップの演奏をご覧ください▶▶▶





**締切** 2024年4月30日(火) 必着

\*2024年度は公開マスタークラス受講生募集はありません。  
\*演奏会、公開マスタークラス聴講&修了コンサートのチケット販売は、5月中旬を予定しております。

## フェニックス・エヴォリューション・シリーズ 2025年度公演企画募集/ホール無料提供

あなたの公演プランを舞台上で実現してみませんか?

当ホールが公演企画を公募し、審査で選ばれた企画者にホールを無料で提供します。併せてホールスタッフが公演開催のお手伝いもする公演共催事業です。企画者には主催者として主体的に公演開催のためのマネジメントに取り組んでいただき、ホールは共催者の立場でサポートいたします。文化芸術の創造的な発展に寄与するユニークかつ意欲的な企画のご応募をお待ちしています。

ホール提供日

2025

5/17土 8/6水 11/11火 2/17火

2026

**締切** 2024年5月31日(金) 必着

**応募資格・条件**

- ・ 公演ジャンル不問。
- ・ 主催者として主体的に公演マネジメントに取り組み、積極的に集客することができる者。
- ・ 音楽大学卒業または同程度の実力を有する者。(学生可、海外居住者可、ただし打ち合わせや広報活動のため来阪できる者に限る)
- ・ 1日1公演の開催、上演時間は休憩時間を含めて2時間程度。
- ・ 公演日の前後3か月の期間内に近畿圏内で同じ内容の公演を実施しない。

**審査基準**

以下の要件のすべて、またはいずれかを満たしているかどうかを審査します。

- ・ 高い音楽性を備えている
- ・ 企画内容が明確で、かつユニークである
- ・ この公演を機会に発展が期待される

**お問い合わせ・募集要項の請求**

いずれの募集も、詳細を必ず募集要項でご確認ください。募集要項、応募用紙は、ホームページよりダウンロードいただけます。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10-8F あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール「大阪ギターサマー」係 または 「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ企画募集」係

TEL 06-6363-0211(平日9:00~17:00) E-mail concert@phoenixhall.jp <https://phoenixhall.jp>

**あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内** ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

**協賛公演**

Sun Bones Trombone Trio ザ・フェニックスホールコンサートVol.4


### 「さんぼんのサウンド・オブ・ミュージック」

主催 Sun Bones Trombone Trio

**発売中** 2024年5月11日(土) 18:00開演 自由席  
一般前売 ¥3,000(友の会会員¥2,700) 一般当日 ¥3,500(友の会会員¥3,150) 学生前売 ¥2,000 学生当日 ¥2,500

出演 武内紗和子、岡村哲朗、石井徹哉(以上トロンボーン)、ゲスト:中立公平(語り)

曲目 R.ロジャース(津村芳伯編):サウンド・オブ・ミュージック(全16曲)



**協賛公演**

The Violin Sonata Series


### 5人のマエストロ×多川響子【vol.3】

主催 Office TAGAWA

**発売中** 2024年5月12日(日) 14:00開演 自由席 一般前売 ¥4,000(友の会会員¥3,600)  
一般当日 ¥4,500(友の会会員¥4,000) 学生前売 ¥2,000 学生当日 ¥2,500 ※友の会割引はお一人様2枚まで

出演 ギョルギ・ババアゼ(ヴァイオリン)、多川響子(ピアノ)

曲目 ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ第9番 長調「クロイツェル」op.47 サン＝サーンス:ヴァイオリンソナタ第1番 短調 op.75  
ラヴェル:ヴァイオリンソナタ



**協賛公演**

KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka ~関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する芸術音楽~


### 島田真千子(ヴァイオリン)&広瀬悦子(ピアノ)

主催 コジマ・コンサートマネジメント

**発売中** 2024年5月15日(水) 19:00開演 指定席 前売・当日 ¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 島田真千子(ヴァイオリン)、広瀬悦子(ピアノ)

曲目 ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ 第9番 長調「クロイツェル」op.47 J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリンソナタ 第1番 短調 BWV1001  
ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第1番 長調「雨の歌」op.78 ポーリーヌ・ガルシア=ヴィアルド:ソナチネ 短調



**協賛公演**

KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka ~関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する芸術音楽~

### ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 首席チェリスト


### タマーシュ・ヴァルガ(チェロ) ピアノ:浅野真弓

主催 コジマ・コンサートマネジメント

**発売中** 2024年5月21日(火) 19:00開演 指定席 前売・当日 ¥6,000(友の会会員¥5,400) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 タマーシュ・ヴァルガ(チェロ)、浅野真弓(ピアノ)

曲目 ブラームス:チェロソナタ 第1番 短調 op.38 ドビュッシー:チェロソナタ  
サン＝サーンス:アレグロ・アパッシionato op.43 シューマン:アダージョとアレグロ 変長調 op.70、幻想小曲集 op.73 ほか



**協賛公演**


中原潤×JITAN.×出水宏輝×大槻敏己

### Los 4 Flamencos

主催 合同会社Moon

**発売中** 2024年5月26日(日) 【昼の部】14:00開演 【夜の部】18:00開演 指定席  
一般前売 ¥5,500(友の会会員¥5,000) 一般当日 ¥6,000(友の会会員¥5,000)

出演 中原潤、JITAN.、出水宏輝(Farolito)、大槻敏己(以上バイレ)、福島隆児(ギター)、Shinji(カンテ)、三木重人(ヴァイオリン)



**協賛公演**


ヴィオラスペース2024大阪 アメリカン・ドリーム!

主催 テレビマンユニオン

**発売中** 2024年5月31日(金) 19:00開演 指定席 特別協賛 NTTファイナンス(株)、NTT-TCリース株式会社  
一般 ¥5,000(友の会会員¥4,500) U25 ¥2,500(1999年以降生まれの方限定。公演当日、生年を証明できるものをご持参ください。)

出演 今井信子、佐々木亮、小峰航一、ハヤシバク、サオ・スレーズ・ラヴィエール(以上ヴァイオリン)、小栗まこと、大谷玲子(以上ヴァイオリン)、  
上森祥平(チェロ)、有吉亮治(ピアノ)

曲目 ベートーヴェン:ヴァイオリンとチェロのための二重奏曲 変長調 Wo032「2つのオブリガートの眼鏡付き」  
チャイコフスキー(プリムローズ編):「ただ憧れを知るものだけが」 ドヴォルザーク:弦楽五重奏曲 第3番 変長調 op.97 ほか



**協賛公演**

KCM Concert at The Phoenix Hall, Osaka ~関西圏の最大拠点 大阪梅田で展開する芸術音楽~


### リヒャルト・シュトラウス 160周年生誕祭 Richard Strauss (1864.6.11-1949.9.8)

主催 コジマ・コンサートマネジメント

**発売中** 2024年6月11日(火) 19:00開演 指定席  
S席 ¥7,000(友の会会員¥6,000) A席 ¥5,000(友の会会員¥4,500) ※友の会割引は前売のみ。限定数。

出演 レ・ミュージシャン de Kyoto 出演メンバー ~京都市交響楽団メンバー/田村安祐美、塩原志麻(以上ヴァイオリン)、小峰航一、前山杏(以上ヴァイオリン)、  
ドナルド・リッチャー、渡辺正和(以上チェロ)、黒川冬貴(コントラバス)、鈴木祐子(クラリネット)、東口泰之(ファゴット)、水無瀬一成(ホルン)

曲目 R.シュトラウス:弦楽四重奏曲 長調 op.2、  
もうひとつのティル・オイレンシュピーゲル ~ヴァイオリン、コントラバス、クラリネット、ファゴット、ホルンによる(フランツ・ハーゼンエール編曲)  
歌劇「カプリッチョ」前奏曲(弦楽六重奏=オリジナル) メタモルフォーゼン(弦楽七重奏版=復元制作=ホルドルフ・レオポルト)



**協賛公演**


第15回 ICEPラオス/日本 活動報告コンサート2024

主催 認定NPO法人ミュージック・シェアリング

**3/25(月) 発売** 2024年6月15日(土) 14:00開演 指定席  
前売・当日 ¥6,500(友の会会員¥5,850) ※友の会割引はお一人様2枚まで。

出演 五嶋みどり(ヴァイオリン)、エレノア・デ・メロン(ヴァイオリン)、笠井大輝(ヴァイオリン)、アレハンドロ・ゴメス・バレハ(チェロ)

曲目 ハイドン:弦楽四重奏曲 第78番 変長調 「日の出」op.76-4 ブラームス:弦楽四重奏曲 第1番 短調 op.51-1 ほか  
活動報告



### 追悼 江戸京子さん

ザ・フェニックスホールで、長年、音楽監督を務めていただきました江戸京子さんが、2024年1月23日に逝去されました。ピアニストであり、名プロデューサーでもあった江戸さんには、1996年から2020年まで、クラシックから民族音楽まで幅広いジャンルの公演を企画していただきました。生前のご功績に敬意を表し、謹んでお悔やみ申し上げます。



## フェニックス・エヴォリューション・シリーズの魅力



2023年度の「エッセイでっせ」では、各地のコンサートホールで行われているユニークな取り組みをご紹介します。最終回は手前味噌になりますが、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホールが取り組む「フェニックス・エヴォリューション・シリーズ」についてご紹介します。

エヴォリューション・シリーズ(以下EVO)の特徴は、企画を公募し審査で選ばれた企画者(アーティスト)にホール使用料を無料でご提供し、併せてホールスタッフが公演制作のお手伝いをするという共催公演事業です。本事業はザ・フェニックスホールが開館した1995年の翌年、1996年からスタートし、現在(2024年3月)まで107公演を実施してきました。選ばれた企画のジャンルは多岐に渡り、クラシック音楽だけでなく、邦楽、民族音楽、電子音楽、レクチャーコンサートなど幅広い公演を実現しています。

EVOには二つの特別な要素があります。一つは“未知なる出会い”の創出です。未知なる出会いとは、これまでになかった新しい魅力を届ける事であり、EVOの本質部分である企画の面白さを追求する事です。これを実現するために、大学教授、評論家、記者、演奏家等、多様な経験を持つ方にアドバイザーをお願いしており、多角的な視点で柔軟に審査していただくことを重視しています。大枠の指標としては、企画の斬新さやコンセプトの評価を軸としながらも、マニアックになり過ぎていないか、集客の可能性はどの程度あるか等、ポピュラリティの要素も加味しています。審査会は毎回混沌としつつ白熱した議論が展開

され、最終決定するまでどうなるかわからないほどスリリングなのですが、そうした経緯を経た上で選ばれた企画には、まさにこれまでにない魅力が詰まっているのです。

そしてもう一つの要素は“アーティストの並々ならぬ熱量”による演奏そのものです。企画が練りに練られたものですから、それを実現しようとするアーティストの熱量も必然と高くなります。それは本当に特別なものであり、実現されたコンサートは素晴らしい熱演となります。その評価は企画内容と合わせて近年特に高まっており、大阪文化祭賞やクリティッククラブ賞など数多くの受賞に繋がっています。

以上の観点から、EVOはザ・フェニックスホールが自信をもってお勧めできる公演ですが、集客については簡単ではないというのが現実です。企画内容が先鋭的になればなるほど集客が難しくなるという構図はクラシック音楽業界に限った事ではなく、美術や演劇等あらゆる表現活動において言える事です。とはいえ、新しいことに挑戦していかなければ表現そのものが更新されなくなり、いずれは全体が面白くなってしまふのが理です。そうならないためにも、ザ・フェニックスホールはEVOを大切に、アーティストの意欲的な表現活動を全力で応援していきたいと考えています。2024年度も選りすぐりの3公演を実施予定です。皆様のお越しを切にお待ちしております。

(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール  
チーフマネージャー 宮地泰史)

### ■2024年度フェニックス・エヴォリューション・シリーズ公演情報

2024年5月14日(火) 19:00開演 井上玲りコーダーリサイタル コンチェルト×リコーダー イタリアの熱狂、ドイツの愉悦  
2024年11月13日(水) 19:00開演 小塩真愛×三原末紗子 ピアノデュオリサイタル  
2025年2月4日(火) 18:30開演 Duo März | Duoの試み 2025 mit フロインデ

\*2025年度の企画募集はP5をご覧ください。

